

2014年11月18日

各 位

旭化成株式会社

高輝度深紫外 LED 初期量産ライン生産開始と  
分析・計測機器向け製品「Optan™」の販売開始について

旭化成株式会社（本社：東京都千代田区、社長：浅野 敏雄）のグループ会社である Crystal IS, Inc.（本社：米国ニューヨーク州 CEO：Larry Felton、以下：「Crystal IS 社」）は、富士支社内の高輝度深紫外 LED 初期量産ラインで生産を開始し、水質の検査や管理などに用いられる分析・計測機器向けの深紫外 LED 「Optan™」を発売しましたので、お知らせいたします。

Crystal IS 社では、窒化アルミニウム（AlN）の単結晶基板上に薄膜を形成した構造の深紫外（250～280nm）LED の製品化を進めています。原料の結晶から製造しており、同社の深紫外 LED は、長寿命かつ世界トップクラスの高い発光出力を有しています。このたび、富士支社内に初期量産ラインが完工し、本格的な製品販売を開始しました。

同社では、分析・測定機器向けの「Optan™」に加えて、水や空気の殺菌等に効果のある製品開発も進めています。紫外線殺菌は、幅広い分野で使用されていますが、これまでは水銀ランプやキセノンランプ等が用いられていました。これに対し、同社が開発した深紫外 LED は、水銀を使わずに、殺菌に最も効果的な 260nm 周辺の波長を発光できます。しかも薬品を使わず、環境にやさしい殺菌が手軽にできるため、今後、飲料水や食品、空気など幅広い分野で使用されていくことが期待されています。

今後も、深紫外 LED の特長を生かした新しい市場開拓、最先端の技術開発、生産体制の強化を行い、深紫外 LED 事業の拡大を図ってまいります。

【「Optan™」概要】

- 品 名 : 「Optan™」分析・測定機器向け深紫外 LED
- 製品特長 : 1. AlN の単結晶基板上に薄膜を形成  
2. 発光出力；0.5~4mW@100mA と高輝度な発光を実現  
3. 高信頼性、長寿命  
4. 発光波長；250~280nm  
5. パッケージ形状；TO-39  
6. 発光角度；15°



深紫外 LED 製品「Optan™」



深紫外 LED の初期量産ライン

【Crystal IS 社の概要】

設 立 : 1997年 Rensselaer Polytechnic Institute からのスピンオフ  
所在地 : 米国ニューヨーク州  
CEO : Larry Felton  
事業内容 : AIN 基板を用いた UV-LED の開発、製造・販売

・ Crystal IS 社のウェブサイト [www.cisuvc.com](http://www.cisuvc.com)

以 上

【本件に関する問い合わせ先】

旭化成株式会社 広報室 TEL: 03-3296-3008